



心

高幡会だより

こころ 44 2015.7



私達は、地域において必要とされる 病院・施設・事業所を目指します。



日本医療評価機構認定病院 大西病院 <http://www.oonishi-hp.or.jp/>



第21回 高幡会 夏まつりのお知らせ



今年もやって来ました夏まつり！ 8月最初の土曜日、1日に実施します。
職員一同、おもてなしの心で皆さんに楽しんでいただけますようお待ちしております。

**第21回 高幡会
夏まつり**
大西病院
あけぼの

日時：8月1日（土）PM5：30～
場所：大西病院駐車場



夏まつり駐車場



転倒防止に向けて

これまで、各職種による転倒防止対策を3回に渡ってお伝えさせていただきました。
今回は、医療安全管理者としての視点からの「転倒防止対策」をお話しさせていただきます。

私共は法人を利用してくださる全ての方に「転倒・転落アセスメント」を実施しています。得られた評価スコアから転倒危険度を把握し、情報共有を図ることで危険因子を取り除きます。身体回復や能力獲得のためのリハビリ。環境調整や適切な履物の指導。日常の観察や見回りを密に行う。最適な体位変換や移乗介助の実践等、様々なことを常に模索しながら日々実践しています。十分に利用者さんの状態を把握し、個々に応じた最適な対応を検討することで、転倒予防に取り組んでいます。

もし、転倒が発生した場合には、誰が、何時、何処で、どうして、どのような状況で転倒されたのかを必ず把握しています。詳細はインシデントレポートにより報告され、情報は直ぐに法人内で共有化しています。

私共では、転倒の発生要因を次の3つに分けて考えています。

- ① 本人要因（身体・精神機能低下、病状、服薬状況、排尿リズム、環境変化対応等）
- ② ケア提供側要因（転倒危険度の把握不十分、説明不足、車椅子ストッパー操作等）
- ③ 環境要因（ベッドの向きや高さ調整が不適、床の状態、照明、ベッドサイド設置物等）

これら3つの要因と、インシデントレポートで報告された内容を併せて分析することで、再発防止や類似事例の発生予防に努めています。

当法人では「身体拘束廃止」を宣言して約10年になります。その間、如何なる理由があっても全く身体拘束を行っておりません。利用者の生命と身体的損傷を防ぐために必要最小限の身体拘束は法的に許されていますが、私共は「人権」を尊重し、ケア方法の工夫で乗り越えてきました。今後も、「**身体拘束ゼロ**」を継続する所存です。

このように、私共は日常的に利用者さんをよく知り、最適な看護・介護の提供を図るための取り組みを行っております。これらのことは、ご本人とご家族の理解と協力が不可欠です。今後も、医師や看護師、相談員等から説明と協力依頼を十分に行わせて頂きますが、ご不明なことがありましたら、ご遠慮なく職員までご相談下さい。



防火避難訓練

6月2日 夜間の火災を想定した防火避難訓練を実施しました。
今回は雨天のため、建物内での訓練となりました。

避難完了後、四万十清流所消防署職員より総評を頂き「初期消火を行った後に、成功したか失敗したかを皆に知らせる事で次の行動に移る事ができます」とのご指摘を頂きました。



後、実際に訓練用消火器と消火栓を使った消火作業を消火設備のメーカーの方の指導のもと行いました。

消防法には、消火訓練と避難訓練は年2回以上、通報訓練は消防計画に定めた回数となっております。高幡会では春と秋に実施しています。



マンネリ化して緊迫感の無い訓練になってしまってはいけません。形骸化した訓練に意味はありません。一人ひとりが、日頃から防災意識を高くもつ基本姿勢が大切です。

業務成果発表会

5月16日 平成26年度 業務成果発表会が行われました。
これは、高幡会の全部署がそれぞれ1年間取り組んできたことの成果を発表する場です。



それぞれの部署ならではの発表内容や切り口は大変興味深く、各部署が患者様・利用者様のために専門的に機能し、また努力していることが実感でき、チームワークをより強くすることができる機会になりました。



これからも全部署全職種が力を合わせて、患者様・利用者様のため、努力をしていきます。



通所リハ 手作りおやつ



フルーツようかん

平成27年 6月29日(月)



抹茶、ようかん、
フルーツでさっぱり
冷たいおやつを
作りました。

きれいに盛り付けてくれました。



七夕



平成27年 7月7日(火)



献立

ちらし寿司
含め煮
節和え
そうめりん汁
七夕ゼリ
ちらし寿司は
天ノ川を
イメージして
盛り付けました



デイサービスひなた便り

七夕祭り

1年に1度の織姫様と彦星様が出会う、七夕の季節がやってきました。
7月7日にデイサービスひなたでも七夕祭りを行いました。
笹の葉に願い事を書いた短冊と折り紙で作った色とりどりの輪っかなど、飾り付けました。



それぞれの笹飾りに個性的な物もあり、願い事の中には、「七夕様ガンバッテ！」なんて激励もありましたが、今年の2人のデートはどうだったでしょうか？



高齢者の熱中症

熱中症は、その時の環境や体調などにより誰もがかかりうる病気です。
高齢者は特に熱中症にかかりやすいという特徴があります。

1. 汗をかきにくくなっている
2. のどが渴いても感じにくい
3. 高齢者は暑さを我慢してしまう
4. 高齢者は糖尿病・高血圧・心臓病など、もともと体力が低下している

以上の点から高齢者は熱中症にかかりやすく、また重症化しやすいことがあります。特に認知症などがあれば更にリスクは高くなります。

対策としては

1. エアコンや扇風機を上手に使う
2. のどが渴かなくても、水分・塩分を補給する
3. 涼しい服装を心がける
4. 外を歩くときは日陰を利用する
5. 日傘・帽子などを利用する

また室温管理に気を配るなど、十分注意をしてください。



◆高齢者は要注意



皆様からの「投稿」をお待ちしております。
病院へのご意見・ご質問、広報誌へのご感想
ご意見などをお寄せください。

〒786-0007
高知県高岡郡四万十町古市町6番12号
TEL 0880-22-1191/FAX 0880-22-1250
✉ e-mail : info@oonishi-hp.or.jp